

産業建設委員会

質 新たに設けられた農地利用最適化推進委員の任務や定数は。

答 地域の農業者との話し合いを積極的に行いながら、農地利用の集積・集約化を推進することや、遊休農地の発生防止や解消に努めることなどの活動が考えられる。定数は、担当区域を現在の選挙区と同じ3区域と想定し、1区域6人、合わせて18人とした。

質 農業委員が任命されるまでの流れは。

答 2月下旬から3月ごろに推薦・公募を実施、4月から5月にかけて選考委員会を開催、6月の能代市議会に議案を提出、そして任期開始の7月20日に新たな農業委員を任命したい。

質 新たなハンターの育成や熊の捕獲対策は。

答 県では、今年度から猟銃免許を新たに取得する方を助成することとしており、本市においても支援を行う方向で検討している。

質 熊の出没により人身被害が想定されるなど、緊急を要する場合の許可申請は。

答 熊を捕獲する際は、県に対して文書による鳥獣捕獲許可申請が必要だが、緊急を要する場合は、口頭での申請も認められ、早急に対応できるようにになっている。来年度からは

さらに迅速に対応するため、各市町村の判断で捕獲できるよう、許可権限を市町村に委譲することが検討されている。

質 北前船日本遺産推進協議会負担金の概要は。

答 北前船日本遺産への追加登録申請に係る経費として、取りまとめをしている協議会へ納付する負担金である。現在、全国27市町村が追加登録に向け資料作成等をしており、協議会では文化庁へ年度内に一括して申請することを目指す。

質 大館能代空港利用助成金に該当しないチケットは何か。

答 既に割引され、支援の必要がないと考えられる格安チケットは助成金の対象とならない。今後、助成対象の範囲を拡大させるよう検討を行っている。

質 大館能代空港増便の要望は。

答 搭乗率がようやく50%を超えた状況であり、現状はまだ増便の段階ではないと思われる。空港利用助成金事業の充実を図ることなどにより利用者をふやし、増便につなげていきたい。また、日帰りが可能となる運行についても要望していきたい。また、首都圏からのビジネス客や観光客等が大館能代空港を利用し、地元で消費し、地域経済の活性化が見込まれるような対策も検討していきたい。

(小林秀彦)

議会基本条例策定 特別委員会

今後の委員会の進め方について

協議結果 県内他市議会の議会基本条例策定スケジュールより、議案上程までの1年から2年程度の間は委員会を多数開催し議論を重ねていること、意見交換会やパブリックコメント等を通じ市民の意見を聴取していること、全員協議会等で全議員の意見を伺っていること等の事例を確認し、現委員任期中での策定は日程的に困難であるとした。

素案策定に向けて

協議結果 会派希望が作成した基本条例の素案を、本委員会におけるたたき台とし、今後内容の協議を進めることとした。

たたき台と、能代市議会会議規則等、既存の条例・規則との整合性の図り方について

意見 整合性を確認することを優先し、条文等についてはその後検討すべきである。

意見 まずは条文等を含め、基本条例の素案の策定を進め、整合性がとれない箇所が生じた場合には、後に既存の条例等を修正すべきである。

意見 既存の条例・規則には余り手を加えずに基本条例をまとめるべきである。

協議結果 まずは項目の検討を進めることとし、条文については他の条例等との整合性を含めて内容を検討することとした。

全員協議会やパブリックコメント、住民説明会等の必要性について

協議結果 全員協議会については素案策定の過程において、パブリックコメントや住民説明会については素案策定の後に、市当局との協議も含め、実施は必要であるとした。

(落合康友)



議会基本条例策定特別委員会の様子

庁舎整備特別委員会の解散

10月1日に庁舎完成記念式典が挙行され、第四庁舎解体工事、旧淳城第二小学校管理教室棟解体工事七年度内に終えることになっております。今後の庁舎整備に関する事務・事業の審査については、総務企画委員会に対応できると考えることから、庁舎整備特別委員会は所期の目的を果たし、任務は終了したものと考え、12月をもって解散しました。